

トルコギキョウ冬季出荷体系の実証(浪江町)

福島県農業総合センター 生産環境部 福島市駐在

事業名 福島県営農再開支援事業
小事業名 営農再開へ向けた作付実証(県による実証研究)
研究課題名 トルコギキョウ冬季出荷体系の実証
担当者 野田正浩、鈴木洋平

I 実証技術の解説

1 要旨

避難指示区域において、地域の協力のもと営農再開に向け既存研究成果等を活用した実証栽培を行い、地域の営農再開等を進める。

本試験では、前年度実証したトルコギキョウの夏秋期出荷体系に続く、冬季出荷体系を実証した。浜通り平坦部の冬季温暖で日照時間が多い気象条件を活かした特色のある花き栽培を実証した。

- (1) トルコギキョウは、購入苗(種子冷蔵苗、406穴)による8月定植で1月中旬開花盛期であった(表1)。
- (2) 切り花品質は、秋冬期の加温管理の遅れ等により、生育のばらつきが見られたが、目標とした有効花蕾6以上を確保した(表1)。
- (3) 耕種概要は、栽植密度が畦幅 80cm・条間×株間 10cm×10cm・中抜き2条の4条植え、定植日が8月10日(購入苗)、定植後の遮光が45%遮光幕を展張、電照なし、温度管理が生育期(昼温 30°C、夜間加温 10°C)、発蕾以降(日中曇天時 25°C加温、夜間加温 15°C)とした。

2 期待される効果

- (1) 避難指示区域を含めた、浜通り沿岸部における、トルコギキョウ導入時の資料となる。

3 活用上の留意点

- (1) 今回の実証栽培は、浜通り平坦部の現地ほ場で行った結果である。
- (2) 作付け前に必ず土壌分析を実施して施肥を行う。
- (3) ハウス内に保温の内張りと暖房機の設置が必要である。

II 具体的データ等

表1 トルコギキョウ切り花調査^z

品種名	定植日	開花盛期	草丈 (cm)	節数 (節)	有効花蕾 数(花)	花径 ^y (cm)	切花重 (g)
トルコギキョウ 「ナイチンゲール」	8月10日	1月3～4半旬	72	12.0	6.8	10.4	79.7

^z調査日：平成28年1月7日、^y第1小花



写真1 トルコギキョウ「ナイチンゲール」の開花状況（平成28年1月7日、浪江町）

III その他

- 1 執筆者 野田正浩
- 2 実施期間 平成27年度
- 3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

(1)「トルコギキョウの低コスト冬季計画生産の考え方と基本マニュアル」(平成24年度農研機構花き研究所)